

マリモ発見 120年

# マリモ講演会

演題：マリモの保全活動を通じて学んだこと

世界で唯一のマリモ研究者

釧路市教育委員会生涯学習部マリモ研究室室長

若菜 勇氏

山形大学理学部 昭和58年卒業

山形大学大学院理学研究科 昭和60年修了

平成29年12月20日(水)

16時20分～17時50分

理学部棟S401教室(ふすまホール)

定員180名 (山形大学の学生・教職員／一般市民)

入場無料ですが、下記へ事前にお申し込みください

【お申し込み先】

山形大学理学部事務室 (総務担当：丹野)

☎ 023-628-4502

Fax 023-628-4510

E-mail risoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

必要事項

- ・ 学校・団体・会社等名
- ・ 参加(代表)者名
- ・ 参加(代表)者の電話番号またはメールアドレス
- ・ 参加人数

マリモの  
特別展示会  
開催!

12月18日(月)13:00

↓

12月21日(木)11:00

サイエンスプロムナード

主催：山形大学理学部 後援：山形大学校友会(卒業生人財バンク活用事業)



## 若菜 勇氏 (わかな いさむ)

### 講師略歴

岩手県水沢市（現・奥州市）生まれ  
昭和58年 山形大学理学部生物学科卒業  
昭和60年 山形大学大学院理学研究科修了（理学修士）  
平成 3年 北海道大学大学院理学研究科修了（理学博士）  
平成 3年から阿寒町教育委員会において学芸員として  
特別天然記念物「阿寒湖マリモ」の保護を目的とした  
研究・教育にあたる

現在、釧路市教育委員会マリモ研究室室長  
として阿寒湖畔エコミュージアムセンターで  
学芸員業務を担当

### 講演要旨

#### 「マリモの保全活動を通じて学んだこと」

20世紀を通じて衰退を続け、絶滅の可能性が懸念されていた特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」の保全対策の確立を求められて、1991年に阿寒湖に学芸員として赴任しました。以来、「調査研究」「教育普及」「保護管理」の3つを指針として業務を幅広く展開しています。「神秘の生物」とも称されるマリモの生態は謎に包まれ、当初は暗中摸索を余儀なくされましたが、減少原因、生長条件、保全対象の明確化、生態と形態が多様化する機序、球形化の機序といった一連の調査研究課題を一つ一つクリアする中で、生物としての実態が少しずつ明らかになってきました。こうした基礎的な知見を整えた上で、保全対策を実行に移すための組織の立ち上げや、その担い手を育成するためのプログラムの構築といった体制整備を進め、ようやく「マリモの保全」というゴールが見通せるようになりました。

どこにも答が用意されていない状況で、どうやって目標達成のための課題を設定し、解決するのか。国内外の多くの共同研究者や市民ボランティアとの協働を通じて学んだ「グローバルに考え、ローカルに活動する」実践例を紹介したいと思います。



地元中学生による水上マリモ観察会



直径34cmの巨大マリモ



地元小学生によるマリモ観察会